

ふれあいのまちづくり

ゆうやけの里

第 59 号

令和7年3月31日

発行: 恩方地区住民協議会広報部 (公財) 八王子市学園都市文化ふれあい財団
 事務局: 恩方市民センター内 八王子市西寺方町260-4 ☎ 042-652-3333
 FAX 042-659-2776

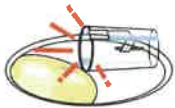
防災アイデア

安全・簡単手作りランプ

前号の地域防災リーダー養成講座の報告の中で最後にご紹介をさせて頂いた安全・簡単手作りランプの作り方をあらためてご紹介させていただきます。万が一の停電に備えて、今から用意をしておくとう安心です。

材料は、サラダオイル（食用油なら可）、ティッシュペーパー、アルミホイル、ガラスのコップです。使う油の量は三時間で五グラム程度で、少量で長く灯し続けます。このランプの特徴は、安全に使えることです。

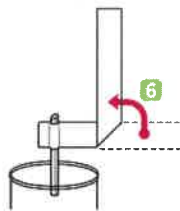
万が一コップが倒れても油に火がつくことはありませんが、アルミホイルごとコップから飛び出さぬよう、コップにとめておくことが大切です。ジャムの瓶など、蓋の付いたものにセットしておく、こぼれる心配もななくいつでも使えます。ぜひご家庭で試してみてください。



【安全灯】
コップがおれても、中の油が外に出るだけで炎はコップの中にとり火災になりません



6 直角に折りあげる



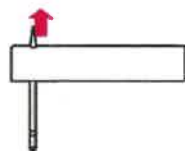
1 3cm巾のアルミホイルを2つに折る



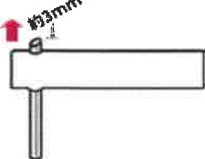
2 さらにたてに2つに折る



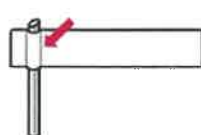
3 ようじで穴をあける



4 灯芯をさしこむ



5 芯のまわりをおさえる



灯りは5等分に、
コンロは6等分に切り分ける

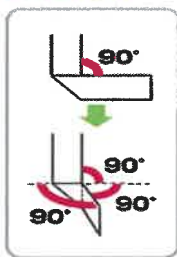


さらに両手のひらで
ころがすように細く丸める

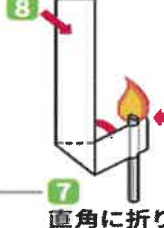


灯芯の先を斜めに切って
できあがり

7 8 9



裏にサラダオイルをぬる

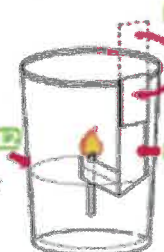


9 灯芯に
サラダオイルを
ふくませ
火をつける

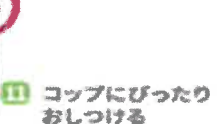
7 直角に折り曲げる

10 11 12

サラダオイルを
芯ささえの
まん中くらいまで
入れる



ガラスのコップ

10 上に出た部分を
外側へ折りかえす11 コップにぴったり
おしつける

コロナ禍明け、完全復活の

「第二十七回恩方市民センターまつり」

恩方住民協事務局長 中島隆弘

令和六年十月二十六日・二十七日、
待望の「第二十七回恩方市民センター
まつり」が開催されました。

今年は、例年に比べ異例の残暑が続
き、十月中旬にもかかわらず夏日が続
きました。

さらに台風の影響で雨の心配もあり
ましたが、センターまつりの当日は秋
らしい穏やかな気候に恵まれ、無事に
開催されました。

今年のセンターまつりは、コロナ禍
を経て完全復活を果たすことを目指し、
実行委員会での綿密な協議を重ねてき
ました。

その中で、センターまつりのシンボ
ルである「ふわふわくじら」を復活さ
せることが決定し、ポスターでも「ふ
わふわ復活!」という記事を掲示しま
した。

この取り組みが話題となり、子ども
たちをはじめ、大人たちも大いに盛り
上がりました。

ふわふわくじらの前には、期間中ず
つと行列ができ、子どもたちの元気な
姿を目にすることができました。

センターまつり初日には、旧児童館
(はちビバ)との共催で「子どもシテ
イ」が開催され、子どもたちに向けた
職業体験イベントが行われました。

毎年行われるこのイベントでは、子



どもたちがさまざまなブースで職業体験を楽しみ、緊張した表情で新しい体験に臨む子どもや、笑顔で楽しむ子どもたちが見られました。

多くの子どもたちが参加し、職業に対する理解を深める素晴らしい機会となりました。

センターまつり二日目の福祉イベントでは、昨年のコロナ渦明けで出演団体が減少していましたが、今年はコロナ前とほぼ同じ団体数が出演していただきました。

これにより、イベントは大いに賑わい、子どもたちが披露した演目に観客から温かい拍手が送られました。

今年は舞台観客が例年に比べて非常に多く、地域の関心の高さを感じました。

館内では、永寿会による血管年齢測定や文化祭の作品展示、また抹茶、コーヒール、カレールのコーナーが出店し、屋外では模擬店やフリーマーケットが賑わいました。

特に注目されたのは、恩方地区の伝統的な「餅つき」です。他の地域では見かける機会が少なくなった餅つきは、恩方ならではの文化を感じさせるイベントとなり、つきたての餅は非常に美味しく、長い行列ができました。

出店者やスタッフの皆さんの協力のおかげで、大きなトラブルもなく、安全・安心に運営することができました。衛生管理面にも細心の注意を払い、



参加者全員が快適に楽しめる環境を提供していただいたことに感謝いたします。

また、市長をはじめとする多くの来賓の方々にもお越しいただき、センターまつりが恩方の魅力を広める一助となったことを実感しました。

今年のセンターまつりは、コロナ渦を乗り越え、完全復活を果たし、地域の一体感を強める素晴らしいイベントとなりました。

参加者や協力者の皆様に感謝し、来年もまたさらに素晴らしいイベントを目指していきたいと考えています。



ご参加いただいた皆様
ありがとうございました。

ご来場いただいた皆様
ありがとうございました。

近隣の皆さま
ご協力ありがとうございました。



オンガタマルシェに参加して

令和六年九月二十九日に六回目となるオンガタマルシェが開催されました。今年も天候にも恵まれ、商店街のな

い街に一日だけの商店街が小田野中央公園に現れ、大変多くの方に楽しんでいただきました。

駐車場やバスから降りて、みんなチラシをもつて「テーマパークに来た」ようにどこから行こうかなと思う人や芝生ではレジャーシートを敷いてピクニックのようにしている家族など、とても楽しんでいられる方が多くいて、実際にボランティア運営する側としては大変やりがいを感じました。

オンガタマルシェが開催されたきっかけは、

- ・地元恩方への感謝と恩返し
- ・今問題となっている地域に雇用を生む事
- ・それによって限界集落の進行を軽減する事

また自治会組織存続の鍵にもなるコミュニティとして、世代間を超えた交流が生まれる事で年齢に対する壁をなくし、意見交換や理解の深まり、活動へのつながり、それらが地域の成長につながる場だと思っています。

そのような事を実際に感じる事ができるのがオンガタマルシェです。

営利目的に近い所もありますがこれらの事を継続させるためにはボランティア精神と少なからずの対価を得る事

が必要とも思っております。

それを運営側に立って初めて感じ取ることができました。

その他には、限られた場所や時間と人数で効率よく行う事が私自身大変勉強になり、今後の他の活動等でも生かしていきたいと思います。

恩方住民協事務局長 白井 克尚



わくわくドキドキの抽選会もある

センター職員紹介

令和七年一月から鈴木雄皓さんが新にご着任されています。宜しく願っています。



聖パウロ学園生の地域との関り

「聖パウロ学園高等学校」は、恩方の地にありながらどんな学校でどんな活動をしているのか、あまり地域に知られていなかったと思います。

ところがここ数年の間に、地域で行われている様々なイベントを中心に、生徒の皆さんの姿を見かけるようになりました。

そこで、今回は地域の皆さんに活動の一端を紹介し、より身近に感じていただければと思います。

彼らが、私たちの目の前に初めて姿を見せたのは、八年前の市民大運動会の準備をしていた時でした。

監督に引率された野球部の生徒約三十名が、地域住民と一緒に手伝ってくれました。

若者らしくきびきびした動きで、とても助かったのを覚えています。

それ以来毎年運動会には、野球部が大会のため来られない時でも、他の生徒が来てくれるようになりました。

運動会以外にも活動の幅が広がり、市民センターまつりではハンドベルの演奏、さくらまつりなどのイベントへの出店、小学校の運動会の手伝い、単位町会夏祭り模擬店の手伝いなど、いろいろな場で活躍しています。

どの場所でも若さ溢れる動きで、周りを元気に和やかにしてくれます。

ハンドベル部は、恩方中学校吹奏楽部とコラボレーションをしてクリスマスコンサートを行い、多くの地域の人々を魅了してくれました。

このコンサートが縁で地域の福祉施設への慰問が検討されています。

さらに恩方の地域課題の一つである獣害対策として、収穫予定のないユズを収穫して獣害を予防する取組をしました。

この取組が、「グリーンライフNWジャパン全国大会」で最優秀賞を受賞しました。

このような様々な活動が活発にできるのは、校長先生を始めとする学校の強力なバックアップがあるからだと思っています。

生徒の皆さんも、地域の人々とのふれあいや時間・空間を共有することで、新しい喜びや世界が広がることだと思います。

地域の皆さんも、どこかで聖パウロの生徒を見たら、声をかけてあげて下さい。

恩方住民協副会長 前原 教久